



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2014 vol.3

E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

『ER.F.C.清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました。

その日。おそらく参加者のほとんどがすでに多くのメディアでその姿を見ているはずなのに、それこそ細部まで何度も見ているはずだったのに、私自身も一度は実車を見ていたはずなのに・・・

それでも赤いベールの下からNDこと新型ロードスターが姿を現すと参加者から「おおーっ！」っと感嘆の声が上がってしまったのは何故でしょう。



知識としてそのフォルムは目に焼き付いているつもりでも、やはり実車をみると印象が変わりますね。スペックからイメージしているサイズ感も、実車をみるといい意味で裏切られたりして。舞浜でのお披露目ですで見ている人でさえも「人工的な空間で室内光の下で見ると、自然の中での光で見るとでは印象が変わるね」と言っていました。

NAからの伝統的な意匠をあえて捨てた上で、現代のロードスター像を構築したと言うそのデザインが醸し出す雰囲気は、やはり間違いなくマツダのロードスターでした。もちろん触れることこそ叶いませんでしたが、皆さんエクステリアの細部はもちろん、シート、インテリア、さらにペダル位置にいたるまで、ためつすがめつ眺めていましたね。

お披露目の場所の一つとして選んでもらえた清里ミーティングで、多くの笑顔が新型ロードスターを囲んでいました。次回のこの場にはそんな笑顔を乗せたNDが何台もやってくるんでしょうね。

あらためて当日参加された皆様、ご尽力いただいたマツダはじめゲストやショップの皆さま、ありがとうございました。スタッフを代表してお礼を申し上げます。この紙面で当日の様子を思い出していただければ幸いです。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)

では、早速午前の部を仕切ってくれたたかねくんの報告を。

今年9月に千葉・幕張で行われた次期NDロードスター発表会「マツダロードスターTHANKS DAY IN JAPAN」を皮切りに、それ以後の主要ロードスターイベントでは実車と開発者共に、言うなれば“全国行脚”を行っておりました。

当クラブの秋の恒例イベント、ERFC清里ミーティングもそのスケジュールの中に組み込まれる幸運に恵まれ、ロードスター発売と同時に発足したERFC自体も25周年のミレニアムイヤーとなったわけで、そんなお祝いに相応しい華やかな開催となりました。

清里MTG恒例の講演会には、当然ながら次期NDロードスターの開発に携わった方々をお迎えしました。

お話を中心にいただいた商品本部プロジェクトマネージャーの山口宗則さんをはじめ、商品本部：主任 下村 剛さん、商品本部 商品企画部：板垣友成さん。車両開発本部：主任 黒木 治さん、パワートレイン開発本部：若狭章則さんなど、近年にはない複数のマツダ開発者をお招きしました。

ご存知の通り、次期NDロードスターは発表こそされたものの、スペック含めて今なおその詳細についてはまだベールに包まれたままの状態です。という事もあり、现阶段ではすべてを話すには少しばかり早いタイミングであり、公表できる情報が限られています。その関係で話せる部分が少なかったものの、そこは清里MTG。無理をお願いして、おそらく本邦初公開!! 複数の開発中の写真交えつつ、極秘トークをしていただきました。

来年の清里MTGではきっと参加者の中にもNDロードスターで来られる方も居る頃ですから、気になるアルファとの関係含めて、改めて存分に話してもらいたいと思うので乞うご期待!?



(たかね)

では、引き続き各スタッフからのレポートをば。



「幸せの赤いオープンカー」

こんにちわ、ミーティング当日は駐車場係を拝命していた藤井と申します。そうです、駐車場の入口で「ERFC 駐車場こっち⇒」という黄色い看板を持って振り回していた奴です。あの時は誘導などが至らず誠に申し訳ありませんでした。何せ私5年ぶりのスタッフ復帰なもので、ちょっと色々勝手を忘れていました。申し訳ありません、来年は？頑張ります。

それはさておき駐車場に色とりどりのNA、NB、NCが並ぶ光景はいつ見ても壮観であります。これを見るだけでもここに来る価値は十分以上あると思います。そんなのがもう二十五年も続いたなんて、感慨深いものがありますよねえ。ファンとファンのこうした絆がある限りこれからも一年に一度、清里の牧草地にロードスターが並ぶんだと思います。来年も来てくださいね。

そしてみなさん、もちろんNDは舐めるように見回してその惚れ惚れするスタイリングに感動しましたよねえ。私もそうですが、実はロードスターはNAから代々バックシャンだと思っていました。もちろんNDもそうだとは思いますが、今回クラッと来たのはしゃがんで斜め前から見たスタイルでした。そう25年目にして初め

て顔と顔で見つめ合ってその美人ぷりに「ドキリ～」としたのでした。ND ってじっくり見れば今風でもどこか古風さを隠し持ったヤマトナデシコなんだわーと?。

しかもイメージカラーはやっぱり赤なんですね。思い起こせばNAもカタログをめくればBOW氏が描いた赤いクルマでした。これってあの時の初恋を思い起こさせてくれるニクイ演出なんだと勝手に思ってます。なのでNDカタログでも表紙をめくった一ページ目は同じにしてもらえるなら感無量です。

こんなふう書き綴ればもうお前はND買うんだろ!とツッコミをくらいそうですが、流石に先立つものはありません。無くては行くんだろ!とさらに抉られそうですが本当に無い袖は振れませぬー。

当分はときめいたあの時のことを思い出しながら、傍らを走り去っていくあの娘を眺めていようかと思えます。

(ふじい)

「～舞い上がっていた駐車場～」

駐車場誘導係と弁当の掛け紙作成担当の前田と申します。最初に謝っちゃいます。「ごめんなさい、ごめんなさい。ほんとーにごめんなさい」。

今思えば、今年はMTGが始まる前からテンションが上がってました。9/4の幕張でのアンペールのあと、各地で行なわれたイベントでのNDお披露目会。そしてロードスターと共に25周年の清里MTGにも、NDが来るらしいという話しが……。それを聞いて、実物を見てなかった私は準備段階から気持ちが昂ぶってました。弁当の掛け紙は、いつもより早く描き上がり、今まで作ったことのない「駐車場スタッフマニュアル」を作り、蔦〇書店代官山で団結式を行ない、万全の態勢でその日を迎えた、はずでした。

ところが……。MTG当日、皆さんより先に到着したNDが牧草地へ移動するため、トレーラーからそろそろと現れた瞬間……。身震いがして、なぜか目から涙が溢れてきました。そして、そんな気持ちのまま、皆さんの車を誘導することとなりました。今年は、駐車場での目標を「皆さんが写真を撮ったとき、より綺麗にカッコよく写るように並べること」としました。



私は、もう一人のスタッフと共に、牧草地に皆さんの車を斜め45度に停めるべく誘導をしていましたが、その声掛けのヒドイこと。気持ちばかりが先走り、呂律も回っていなかったように記憶しています。「左にハンドルを切って……」と言うところを「右に……」と言ってみたり、挙句の果てに「私を轢くような感じにまっすぐ下りて来て……(なんじゃそりゃ!!)」なんて。舞い上がっていて、ほんとーにごめんなさい。

けれど、止め終わって見渡してみると……。綺麗に並んでましたね、いかがでしたか?これもひとえに皆さんのご協力のおかげです。ありがとうございました。

そして皆さんがホールでのイベントのために上がって行かれたあとは、駐車場の見守りです。今年も多く



観光客が、それぞれが気に入ったロードスターの前で写真を撮ってましたよ。いつもながら、ほのぼのとした光景でした。そしてお昼。今年の弁当の掛け紙のテーマは「マジメにND」。「額に入れて飾ります」と言っていた参加者がいたとかいないとか。制作者冥利に尽きます。また数人の方からは「くずした絵を描く人かと思ってましたが、ちゃんとしたのも描けるんですね」とも。今回はガチでマジに描きました、ハイ!!来年はこの牧草地にNDも加わり、4代のロードスターが並ぶ光景を、今から楽しみにしています。また清里でお会いしましょう。

(まえだ)

「青空と雲と霧」

25回目の清里ミーティング、お疲れさまでした。

皆さんのクルマを綺麗に斜め45° 駐車するべく、停止誘導をしていた者です。

昨年一昨年と家庭の事情で参加できず、3年振りの清里参加、スタッフとして皆さんのクルマを誘導するのも久しぶり

内心、不安いっぱい誘導が始まった最初の頃は手際が悪かったように思います。

今年は前日の雨で、牧草地は非常にスリッピーだったのですが、無事に事故なく並べられ、協力してくれた参加者の皆さんありがとうございました。

NDの公開展示、マツダから大勢のゲストにNDのナイショのお話と、今年は例年にも増して見どころ満載の清里を楽しんで頂けたことかと思えます。

自分とはいうと、NDと皆さんのクルマを監視するという名目で1日中外でNDを眺めていたり、スタッフや観光客の人達などと色々話したり

青空と雲と霧、清里らしい自然の中でロードスターと一緒に1日過ごす、それはそれで楽しかったです。

ここに来年は何色の何台のNDが並ぶのかな～

来年、笑顔でNDで参加するであろう皆さんを案内するのを、今から楽しみにしています。

(なみちゃん)

「おべんとう」

実は、例年息子の虎太郎の仕事だったテルテル坊主作りが今年娘の葉里にバトンタッチされたので、もし雨だったらどうしようかと正直、「雨」の天気予報にひやひやしていたのです。

今年も前日から準備のために清里入り。天候は・・・かなり怪しい感じの曇りのち雨。

今年はカラッと晴れ上がった天気は望めないかもしれないなあ、と若干後ろ向きな気持ちにもなりかけました。でもでも！

当日の朝は美しい山並みが見渡せるほどいい天気になりました。もちろん霧が濃くでたり、という時間帯もありましたがおおむね雨には見舞われず済み、気温も高めで本当に良かったです。それにしても、女子力の高いテルテル坊主でピンクの目にまつ毛グリーン。清里終了後に改めて「これじゃ雷も近寄らないよね」と思う母、さっちゃんでした。何かの折には魔除けにしたいと思います(笑)

お弁当、今年もいろいろなご感想を頂き、ありがとうございました。「掛け紙、いいですねえ！」とか「ボリュームミーでした」などなど。中でも一番多かったのは当たりくじ廃止についてのご意見。「なんであたりがないの?!」ゴメンナサイネ。「今年こそあたる計画だったのに！」イチネンカンモ マッテテクレタンデスネ。「あたることに意義があるんです。物はなくても」・・・ソナンニ、アタリタカッタンデスネ・・・。プレゼントはいいから誰かと握手券とかでも当たりたかった！という方もいらっしゃり、来年への参考にさせて頂きたいと思います。会長ひでまろくん、実行委員長長豆さん、メンバーの皆様、握手の練習しておいてくださいね(笑)



(さっちゃん)

「ERFCグッズも25年経過」

ロードスター25周年のそれに勝るとも劣らないERFCのシンボルマーク。

NAのシルエットをシンプルに描いたものです。今年の記念品のTシャツ「清里25」の背中にも入ってます。

ERFCのオリジナルグッズは数年前まではベロアのキャップもありましたが売り切れ、ステッカー、ワッペンのみとなりました。

通販などは行っておらず、清里ミーティング会場のみで、じみ〜に販売しております。

実はこれ・・・ERFC結成早々に製作したものを今だ、売り続けております。

(なお当時はERFCに入会すると、カードサイズの会員証と白地に今と異なる初期のロゴ入りの細長いステッカーが送られてきました。)

とはいえ、なにかとモノにはうるさいスタッフが素材から厳選して作ったものですから、色あせや焼けなどなく品質は確かです。

在庫数はあと3年分くらいは大丈夫だと思いますが、今のところ再生産の予定はありませんので、

NDにお乗換でステッカーを貼り替える方は、品切れになる前に来年の清里ミーティング(?)で早めにお買い求めください。



(片貝)

「受付・・・るはずだったのに」

前回のプレスで『受付もいつもと違います』とお知らせしましたが、確かに違いました。

実はワタシ、イベントの10日前に自爆(泣)で右足小指を骨折してしまい、受付担当を交代してもらおう羽目に。

イベント中もほぼ置物と化していたため、参加者の皆さんにまともにご挨拶もできず大変失礼しました。

NDはかろうじて撤収時に一目見ることはできましたが、やっぱりカッコ良かったですね!

皆さん楽しんでいただけたでしょうか?

次回は置物にならぬよう、ミーティングの前から十分注意して参加したいと思います(涙)。

(つのにし)

「受付ました」

ここ何年かお越しにいただいている方は、受付の場所も顔ぶれも変わっていて驚かれたでしょうか。

(初めてお越しにいただいた方の為に書きますと、例年の受付場所は山口さんの講演を聴いていたホールで行っておりました。)

で、顔ぶれが変わった顛末は別の方が書かれていると思いますが(笑)、受付場所が変わった理由は、それはもちろん「NDが来た」からであります。いやあ、スタタモンダしましたよ。

ND来るって!

え?来るって清里に?あれ自走するの?

走れるらしいけど走らせないって。積車で持ってきて、あとは手押しらしいよ。

え?俺たち押せるの?

いや、それはマツダの方でやるって。それはそうと、どこに置く?

ホールの前のロータリーは？

いや、それは無理だわ。あそこは流石に貸切できないし。

じゃあ牧草地？

だよな。でもさ、「牧草」の上だよ？すべるし汚れるし、それに雨降ったらどうするの？

じゃ砂利の上にする？

いや、それはかっこ悪いか。

云々かんぬん・・・雨が降らないことを祈りつつ、結局牧草地に置くことに決定。

「アンベール」ってやるみたいだよ。

え？もうあちこちでやってるし、11月に入ってまでやらないかんの？いきなり置いてあるってのはだめなの？

どうも「アンベール」はやることになってるらしいのだよ。

じゃ、どのタイミングでやる？

受付を（いつもの通りホールで）やってからみんなに駐車場まで降りてもらう？

いや、それは面倒でしょ。

でも、駐車場で待ってもらうの？寒くないかい？

じゃ、いっそ「アンベール」をお昼休み前にしちゃうとか？

だとすると、午前中ずっとベールかけとくの？まさかそれはまずいでしょ！

云々かんぬん・・・受付を駐車場でやってそのまま「アンベール」になだれ込むことに決定。



そんなこんなでスッタモンダしているうちに、みなさんからの参加受付を開始したのですが、今度はその参加受付で更なるスッタモンダ？が・・・

これまでの清里ミーティングでは、今のメインホールを利用させていただくようになってから「限定100台募集」と謳ってまいりました。が、正直な話、エントリー段階で100台を超えてしまい参加をお断りしたことはありませんでした。

だいたい毎年、期間ギリギリまでエントリーをお受けして、なんとか100台近くは集まっていたと、という状況なのでした。

ところが、今年はまったく違った様相となりました。

それこそ受付開始と共に、一気に30通近くのメールが届き、その後もメールやらハガキやらが連日届いて、わずか一週間で100台に達してしまっただけです。

これはまったく予想してませんでした。

もしかしたら、締め切り近くになった頃に、申し訳ないけどお断りすることもあるかな、その時はなんてお断りの返信をしようかな、程度に考えていたのですが・・・甘かった！

一週間とは、まさに「想定外」。NDパワー恐るべし。

何年もお越しいただいている方の中には、いつもと同じ感じで申し込もうとしたら既に締め切りになっていた、なんて方もいらしたようで、申し訳ないことです。



怒涛の受付が落ち着いたら、今度は受付担当の戦線離脱（苦笑）が決まり、急遽自分が担当することになったのでした。

そんなわけで、朝の受付で皆さんのお相手をさせていただいたのは、たぶん10年ぶりくらいでしょうか。

正直、当日は朝からとっちらかってましたので、ご来場いただいた皆さんにはご面倒やご迷惑をお掛けしたのではないかと思います。ごめんなさい。

ちなみに受付をしていた場所はちょうどアンペールを待つNDを横目に見る場所でした。が、肝心のアンペールは見れませんでした。まあ仕方ないですね。



いやあ、いろいろあった！

25回もやっていますが、毎年なんか起きる（起こしてることもある？）ものですね。お陰で新鮮・・・いや、毎年スツタモンダしております。はい。

さて来年は・・・なんて考えてみても仕方ないので、いつも通り自然体で挑めれば、と思います。さすがに今年みたいなことは無いでしょう、、か？

（つのやま）

「～清里への道～」

25回目となる今回も清里ミーティングを無事に終了することができました。ご参加のみなさんをはじめ、支えてくださるみなさん、本当にありがとうございます。陽の下で見る新型（ND）はどうでしたか？とかはもう聞き飽きたかと思うので置いといて、今回はみなさんに折り入ってご相談があります。清里ミーティングに参加しているみなさんにはご存知の方も多いかと思いますが、いつも遠く広島からいらしてくださる福田さんご夫妻は日本中のイベントに広島から37万キロを超えた「ロードGG(ググ)君」をドライブしていらっしゃいます。清里にも金曜日の明け方に出て車中泊しながらアチコチ寄り道していらっしゃるそうです。

その福田さんちのおばちゃんたら、毎年毎年いつも帰り際に「来年はどこを通ってほしい？」って聞いてくるんです。何年前かに中津川から大平街道を通って飯田に抜けるルートをおススメしたら、紅葉もキレイでロードスターにぴったりの道だったとおっしゃってました。ある年は高遠から茅野に抜ける杖突峠を、またある年には郡上八幡から高山へせせらぎ街道を勧めたこともあります。そして今年はなんと万座を通っていらしたそうです（記憶も曖昧ですが、ぼくもお気に入りのルートだからたぶんお話ししたんでしょう）。清里へのドライブは清里にいらっしゃる楽しみのひとつなんだそうです。キレイな景色の中をドライブしていると奥様の機嫌が直ると福田さんもおっしゃってました（ってことはその前にご機嫌斜めだったってたってことでは…？）。ちょうど紅葉のいい季節だし、どこ走ってもそこそこ気持ちいいとは思いますがね。

しかしそろそろネタが尽きてきました。清里ミーティングを開催する11月初旬なら麦草峠がまだ通れる時期かしらとか、白山スーパー林道はすすめたっけ？でもエライ遠回りだしとか、もうそのくらいしか思いつきません。ってゆーか広島から清里に来るのに万座を通ってくるなんておかしいと思います。山ばかりでなく海もと思って、能登の千里浜なぎさドライブウェイを勧めたって「おもしろそう！」って寄り道してきちゃいそうです。ってゆーかもう行ったことあるかな？そもそもロードスターで車中泊とかやめてほしいんですけどネタ切れでだんだん遠くになってるし…。そこでみなさん、おすすめのドライブルートをお教えください。とりあえず清里に行く道じゃなくてもかまいません。とにかくステキなドライブルートをお教えください。できれば福田さんちのおばちゃんが喜びそうなルートで。よろしくお願ひします。

（ひでまる）

『編集後記・・・というが、チランの裏的雑記』

豆蔵です。まずは年内に発行できずにごめんなさい。スタッフからは昨年うちに原稿をもらっているのですが、そういう記述になってるところは「豆蔵のせいなのね！（そうなのね）」と言う事で見逃してやってください。（^_^）

さてさて、今回の清里は例年にならぬほどに天候が気になった年でした。

ユーノス/マツダ ロードスター誕生から25周年。さらに募集開始直前にNDの清里でのお披露目もマツダから公表されたらあって、今の100台限定のスタイルになって最速の一週間でまさかの満員御礼！常連さんですら、参加をお断りせざるを得ない事態になってしまうほどに大きな期待を持って皆さんが参加すると言うのに、万が一当日雨が降るようだったら・・・。最悪の場合、NDはトレーラーから出せなくなってしまうかも、と言うことであと一週間を迎えた頃から週間予報の成り行きに一喜一憂と言うか、戦々恐々とする日々を迎えたのでした。

そして強弱をくり返す雨が降る前日の天気予報では、日曜の現地付近は昼間の降水確率10～20%。未明には雨も止むとの予報を信じて朝を待ちます・・・

そして翌朝、早朝こそ霧が立ち込めていたものの、NDを駐車場に配置する頃には霧も晴れて雲海の上に大きな笠をかぶった富士山が見える絶好のロケーションになって、ゲストの皆さんもスタッフもほっと胸をなでおろし・・・たのも束の間。皆さんを駐車場に誘導する頃には再び霧が立ち込めだし、一時は駐車場の誘導係も「私の姿が見えますか～あ?!」と呼びかけなきゃならないような状態に。

それも後になってみれば、NDの登場を演出するスモークのようなものだったと思えば・・・

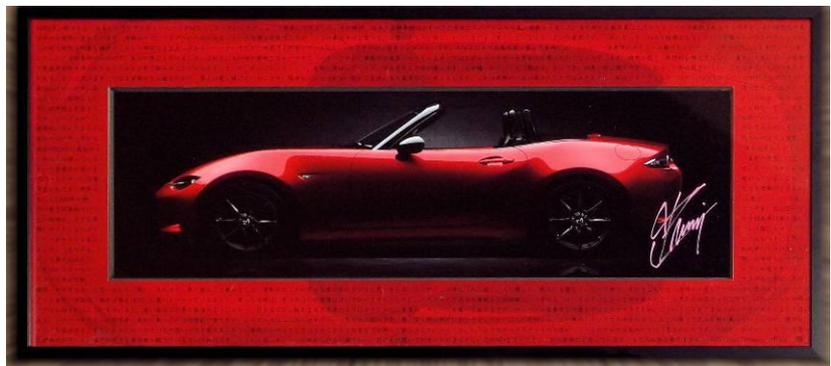
何はともあれ一面で書いたように、イベント開始の頃には霧もおおむね晴れて無事に皆さんの前でNDのアンペールが行われました。少なくとも半分以上の皆さんはNDを初見の様子。みんな自分の目で新型を確かめています。マツダのご厚意で触らない限り、近くに寄ってもらっても構わないと言われたので、みんな遠慮なく寄る寄る。(笑)

そして比較的小規模なミーティングのありがたさ。ちょっと人垣が落ち着いた頃には、ゲストから内外装のこだわりを直接ご紹介いただいたりすることもできました。

ところで、この日は時間の都合で午後の屋内イベント再開直前にNDの撤収作業が行われたのですが、この時が一番の人だかりができていました。実はこれが今回のメインイベントになってしまったんじゃないかと言うほどにw

ところで、毎回のお楽しみとなっているジャンケン大王によるじゃんけん大会。今年もゲストの皆様ご提供の品の争奪戦で盛り上がりましたが、今回の目玉は条件付きの一品！その参加条件は「NDを絶対に買う！」と言ってくれる人！そしてその賞品は、今回残念ながらご参加いただけなかったNDのチーフデザイナーである中山さんからの「後ほどお送りする券」！もちろん、券だけじゃなくちゃんと「なにか」を直接送っていただけるというものでした。

その宣言をできるという人たちによる壮絶な(?)じゃんけんの結果、NBにお乗りの静岡の諸星さんがその栄誉に輝きました。そして中山さんから約束通りに送られてきたのは幅40センチほどの額に入れられたNDのデザイン画。この大きさでは見えませんが、実はNDのサイドビューを囲む部分にはNDの平面図と中山さんのロードスターへの思いがびっしりと書かれている一枚です。諸星さん。これはもう、次回の清里へはNDじゃないと参加不可ですからね。(ウソです)



私のNAも今回の清里直前めでたく納車25周年を迎えました。NDも気になります。まずは日本最古のワンオーナーNAとなることを目指して！(笑)

では、また次回。清里でお会いしましょう。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



ERFC Newsletter
ユーノスロードスターファンクラブ通信
2014 vol. 3 2015年1月吉日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp